



ゆんたく 2012 Vol.17 都島

Contents

理事長 巻頭MESSAGE

特集1. 児童センターが生まれ変わります

特集2. 私たちの園を紹介します —沖繩、渡・松島保育園—

都島区民まつり&福祉ふれあいフェスタ

子育てアドバイス① 乳幼児の食事について

児童発達支援センターこども園から①/ひまわりネット連載コラム①

巻末連載—ぶらり都島① 都島神社

社会福祉法人 都島友の会



沖縄 子どもたちと一緒に

Message



の会が認可され、保育室2室、子ども図書室、事務所兼応接室、給食室を確保しましたが、年々入園希望者が増え、学童保育という言葉もなにもなかった時代、児童館の中には保育部、幼児部、学童部、クラブ部と、乳幼児から小学校、中学校の子どもたちの生活する場となりました。昭和27年には社会福祉法人に組織変更となります。

昭和37年5月に鉄筋モルタル造り2階建ての園舎を増築。2階は図書室兼学童保育室がつけられました。

そして昭和47年12月。都島児童センターの全面増改築がおこなわれ、現在の園舎が出来上がります。当時比嘉正子は67歳。青空保育の時代より掲げた自らの保育理念をいかにコンクリートの建物に取り入れるかに孤軍奮闘し、当時保育の専門書も乏しくわずかな資料を頼りとしながら生来の進取の精神で独創的な遊び場の創設やオリジナルな椅子や机、昼寝用ハンモックを発案するなど、保育所、児童館、療育園を全部ひっくるめた子どもたちの殿堂、比嘉の考える「児童福祉の拠点」を完成させました。

ただこのように造られた現在の建物は、高度成長期の建設ラッシュ期のものであったため、コンクリート

の中に塩分が含まれ、年月と共に鉄筋が錆びコンクリートがはがれ、また阪神大震災の影響もあり、平成11年以降は雨漏りによる大屋根根修理、給食室、地下室、ホール、漏電、ガス配管等、次々と大補修に追われることになり、また年々増加する待機児童の解消や環境安全面から、ようやく平成24年保育所建替え申請をして国より補助金を受けられることになりました。現在は建物を取り壊し、保護者、子どもたち、地域の皆さまにご協力をいただきながら仮園舎での生活が始まっています。

築後40年、比嘉正子67歳の時に建造した建物を、比嘉より薫陶を受けた私が、いま68歳で建て替えに巡り会いましたこと、やはり何かの奇縁なのか感慨一入（かんがいひとしお）なものがあります。

これからの40年、50年の歳月にも揺るぐことなく耐え得る、安心・安全・快適をモットーとした建築物の中に、青空保育以来の「温故知新」の精神と自然を充分に取り入れた子どもたちに夢を与える園舎をつくる所存です。

☆小鳥たちや小動物が楽しげに遊び訪れる園庭
☆水たまりがあり、虫が棲み、草花が咲き誇り、小さな生物が生

息するビオトープ
☆実のなる木々、ぶどう、キウイ、ビワ、柿、栗・・・
☆大いなる自然の移ろい、季節の変化、光や影、そしてその中を駆けめぐる子どもたち（さざめき、笑い、驚き、喜び、悲しみ、歌声、発見やチャレンジ、希望・・・）の姿が浮かびます。

北側正面玄関を入ると両サイドに事務所、左に行くくと裸足で遊べるピロティ、続いて人工芝、安田式遊具が3階のバルコニーから連なり、その奥にビオトープ、南には広い運動場、子どもたちが存分に遊べます。西側には談話コーナー、その奥には乳児、幼児、それぞれ立体的オブジェのある夢広場、そこは一つひとつのストーリーの中で自分自身が考え、探し、想像し、創造する子どもたちの1日が始まる部屋です。

西側玄関は職員及び本部関係者の出入り口となり、南側は子どもたちも見に来れる給食室、さらにシャワーのある職員更衣室、多面的談話室、2階、3階、4階は・・・と夢はどんどん広がって現在も藤田建築設計事務所や建設委員会（職員を含め）との打ち合わせに奮闘しています。詳細は次号といたします。

巻頭メッセージ

「温故知新」—創設の理念を大切にして 都島児童センターの建替えについて

社会福祉法人都島友の会 理事長 渡久地 歌子

本年は法人の創設者比嘉正子が他界して（平成4年11月没）20年目の年になります。

20世紀から21世紀へと世紀が移り、過ぎ去った年月と共に比嘉正子の関係者や都島友の会の歴史を知る者も少なくなる中で、折しも今年度は昭和47年に建造された現在の都島児童センターの建物が40年の歴史の幕を閉じ、来春、新たな園舎として生まれ変わるべく建替え工事がスタートいたしました。

今日、社会が大きく変動し混乱する中、社会福祉の有りようもまた大きく問われております。福祉とは何か、私たちは何をなすべきか、そして私たち法人は今後どこに向かおうとするべきかを問いなおす時、いま再び私たちは法人の創設者比嘉正子の福祉の理念をしっかりと心に刻まねばならないとも考えます。そのためにも当法人の歴史ともいえるべき園舎の変遷を紐解くことに致します。

昭和6年、創設時、園舎はありませんでした。住居の一階を子どもたちの集合場所とし、輝く太陽の下、近くの公園で、木々や木陰、石ころ、虫や草花、まさに自然を友とし、子どもたちを大きく育んでゆきました。青空保育園の誕生です。

やがて母親や父兄の方々をはじめ

め、地元の有力者、多くの賛同者のお力を借りて300坪の土地を借り、25坪の建物の中に保育室をつくり、昭和9年には都島幼稚園として認可されました。

太平洋戦争の始まった昭和16年からは戦時保育の苦難の時代。男は戦場に、女性は軍需工場に動員され、疎開できない子どもたちも多く昭和19年には300名にもものぼる子どもたちが登園していました。

昭和20年3月には大阪大空襲があり、大阪府知事より閉鎖命令が出ます。そして同年6月大阪東一帯が大空襲を受け焼け野原となりました。そして敗戦。

勝つと信じた戦争に敗れ、園舎は灰燼と帰し、三人いたわが子の二人までを比嘉正子は失います。

戦後、もう再び仕事はすまいと思つた比嘉ですが、わが子の墓にと蓄えていた15万円のお金で、昭和24年11月、都島児童館を完成させます。焼け野原となった場所に修了児や元保護者、近隣の人々の力を借り、木造づくりの小さな児童館が出来上がります。手作りの園舎はともユニークなもので中でも子どもたちの寛げる掘りこたつ式の図書室はマスコミにも取り上げられました。

昭和25年2月に財団法人都島友

21世紀にふさわしい“子どもたちの殿堂”へー。 来春の完成を目指して、都島児童センターが生まれ変わります。

社会福祉法人都島友の会 都島児童センターは、昭和四十七年十二月に、現在の鉄筋コンクリート4階建ての園舎を新築しましたが、すでに40年が経過しようとしています。この間、私達を取り巻く時代状況や生活環境の変化、さらには子どもたちをよりよく育むための環境改善にむけて幾度となく改修工事を繰り返してきましましたが建物の老朽化は否めず、また平成七年の『阪神淡路大震災』、平成二十三年『東日本大震災』を経験し、耐震面においての安全性に大きな不安を抱えることになりました。そのため、子どもたちの安心・安全・快適を第一とする新たな園舎の建替えが懸案となっておりましたが、本年ようやく着工の運びとなりました。

子どもたちに夢を与え、子どもたちが楽しくのびのびと園生活を送ることのできる都島の、新たな子どもたちの殿堂へー。21世紀に生きる子どもたちの健全な育成を目指し、来春、児童センターは生まれ変わります。



平成 25 年

都島児童センター、
全面建替え



現在の都島児童センター

平成 22 年

80周年記念事業
成育保育園を開設

平成 14 年

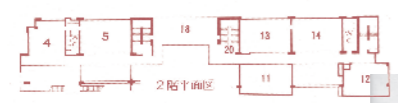
70周年記念事業
特別養護老人ホーム
ひまわりの郷開設

平成 3 年

60周年記念事業
都島桜宮保育園開設

昭和57・58年

50周年記念事業
沖縄県那覇市松島に松島保育園開設
都島友洲地区に都島友洲保育園開設



昭和 47 年



40周年記念事業
都島児童センター新築

昭和 37 年



2階建を表に突き出し、
階下は保育室と給食室、2階は事務所

時代と共に、希望と共に。 子どもたちを育んだ、園舎の移り変わり

昭和 12 年



昭和12年頃の園舎

昭和 6 年



青空保育創設
都島小公園で陽光を身体いっぱい浴びて遊ぶ園児たち

昭和 20 年



6月の大空襲で焼け野原になった都島区

昭和 25 年

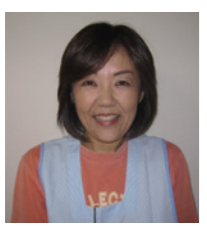


都島児童館発足

昭和 27 年



社会福祉法人に組織変更



「私が育った都島児童センター」 都島児童館 主任 守屋 美智子

木造校舎から新しい園舎に引っ越した頃、私は遊びの空間がたくさんある児童センターに通うのが楽しくてしかたがなかった事を思い出します。

「らくがきの部屋」「かくれんぼの部屋」…園庭だけでなく、園舎の中にも遊びがいっぱいできる場所がある児童センターが大好きでした。中でも一番のお気に入りにはホールへ上がった壁にあった石の動物の壁画!動物達の個性ある顔がなんとも言えないんです。よく階段に座って眺めていました。建て替えに伴い一つ欲しいと願ったのですが…。今度の児童センターにはどんな空間があるのか?楽しみです。



「私達の宝物」 都島乳児保育センター 保育士 西村 麻衣子

鬼ごっこやかくれんぼ…園舎全体を使って友達と毎日遊び過ごしていた日々。大きなひまわり門をくぐり、お部屋へ行くまでに給食室へ献立を聞きに行くのも私の日課。そんな懐かしい大切な思い出の詰まった園舎が、建替えとはいえなくなってしまう事に少し寂しさを感じています。

卒園児の私と学童保育でお世話になった2人の娘が、時間が経っても同じ様に遊び、過ごした園舎は私達の宝物です。新しく生まれ変わった園舎でも、きっとみんなの大切な思い出がつづられていくのでしょうね。



「10年目突入!」 秋築 直人 三兄弟の父。三男は現在四歳児、来年新園舎で卒園。

気が付けば、3兄弟を通じてアツと言う間に10年、都島児童センターに通い続けております。来年は、新園舎にて年長を迎える三男のたくましく育った姿を見て、涙する日が来るのを楽しみに、11年目へのカウントダウン開始です…あと何年、お世話になる事になるのでしょうか?



「今と昔」 村上 勝彦 親子2世代で児童センターに通園。 現在、年長男児と0歳女児(来年度入園希望)の父。

入園あれから40年。小さくなった保育園!息子が入園、娘ももうすぐお世話になる。昔は、すべり台、ロープで吊るした石のボール、園庭でよく遊んだものだ。変化があったりなかったり感慨深い…。最後の日に、怒られても息子とすべり台ですべておけば良かったかな?新旧の児童センターを見れるのも乙なもの。今の世代だけ、仮暮らしも他では経験できない素晴らしい思い出になる粋なもの。



父親座談会（お菓子作り）

これからも「継続は力なり」で父親の子育て参加が増えるよう父親座談会を続けていければと考えています。



父親座談会（プレゼント作り）

男同士ならではの話が飛び交い、参考になったとおっしゃるお父さんたちもたくさんいました。回を重ねるごとに、園を飛び出しピクニック、夜のほたる観察会など親子で楽しめる企画を年に4〜5回もち、この8月で10回目を数え、その成果があつてか、お父さんたちの園への協力や子育て参加がとて多いような気がします。園内清掃はじめ行事への参加、そして子どもたちの送迎・・・。また祖父母の方の孫の送迎や行事参加も多く、家族みなで子育てに協力している環境は子どもたちの将来に大きなプラスとなることでしょう。



父親座談会

男の園長という事で、男同士で話をしよう！と父親座談会が始まったのが平成22年。最初はお父さんたちから小学校入学までのしつけや育児の相談、小学校、中学、高校と経過する中での父親の役割といった教育談義や、朝食はパンよりご飯が良い事、家庭でどこまで子育てに参加しているか等々、

父親座談会シリーズ



沖縄 渡保育園



旗頭

沖縄の伝統芸能の伝承

創設以来、渡保育園では伝統芸能の伝承には力を入れ、様々な行事にその特色を生かしています。

運動会では、午後の部はドラの鐘の音で始まり一瞬にして「沖縄一色」。幕開けは五才児による棒術や空手、そして獅子舞、旗頭と力強く演舞する姿は見る者を釘付けにします。年少・年中の子どもたちは、「早く年長さんになりたいな」と目を輝かせ、憧れている子どもたちです。

渡大綱引きでは、那覇祭り顔負けの東西対決やサバニと呼ばれる漁船を使ったレースもあり、応援する側にも熱が入ります。最後は年長全員によるエイサー。力強いかけ声とパーランクの音色がグラウンドいっぱいに響きわたります。



エイサー



発表会

発表会では五才児が方言劇に挑戦。使ったことのない言葉に初めは戸惑っていますが、慣れるとセリフもすくなく覚え感情を込めて演じます。この発表会を見て涙する保護者も多く、子どもたちの成長には感動させられます。一年の行事を通じて沖縄の文化と触れ合い素晴らしい伝統芸能を受け継いでほしいとこれからも願っています。



獅子舞

組み踊り観賞会

沖縄の本土復帰とともにわが国のすぐれた芸能として国定重要無形文化財に認定された「組み踊り」鑑賞会が昨年渡保育園で行われました。本格的な古典芸能を間近に見ることができ感激の子どもたちでした。



沖縄の
こころと文化を大切にしてい



地域の人たちと共に、
新しい取り組みに
チャレンジしていきます！



子育て支援 ● 子育てサロン・みわらび ●



「別館みわらび」での子育てサロンが6月20日に行われました。今、産休や育休中のママさん、もうすぐママさんも大集合。はじめは緊張気味？ですがターゲットは「子育て」が、いつものまにかお母さん同士の情報交換もはじまり、給食室で用意していた「離乳食試食&レシピー」では試食を口にしながら、あれやこれや育児中の奮闘ぶりや多彩なエピソードも飛び出し、「そうそう、うちの子ども」と話に花が咲き、笑いの絶えない貴重なひと時でした。



当園では、以前からオリジナルな取り組みとして父親座談会を継続して行っていますが、創立31年目を迎えた今年、地域に開かれた新しい取り組みとしてこのサロンを盛り上げていきたいと思えます。



父親座談会（親子で水遊び）

沖縄 松島保育園



「いつもお元気です！
ちやーがんじゅー、
おばあとのゆんたくタイム」



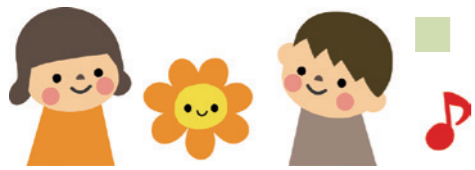
渡保育園のある首里金城町は昔から地域活動が盛んなところ。観光でも名高い石畳は園児達の散歩道、子どもたちの元気な声が響いています。二十年前なら散歩をしていると、近所のおばあちゃんが「休んでいきなさい」とおやつを御馳走してもらうこともありましたが、昔と変わらぬ風情のある地域であってほしいと、おばあ、おばあとの、ゆんたくタイムを企画してみました。

地域公民館、通称「村屋」で、地域のお年寄りが「ふれあいの集い」を行っていることを知り、手作りおやつをお土産にその集いにお邪魔することにしたのです。はじめは恥ずかしがっていた子どもたちもおやつと一緒に食べる事で雰囲気も和み、笑い声が聞こえるようになりました。

おやつのお礼においしいちゃんの「瞬芸」鶴の舞」に子どもたちは大爆笑！子どもたちのアンコールの声においしいちゃんも大喜びでした。

最後の記念撮影では子どもたちがおじいちゃんおばあちゃんに座る微笑ましい姿もみられました。これからも地域との触れ合いを大切にしていきたいと思えます。





News&Information

各園ニュース&インフォメーション

都島児童センター

只今、園舎建て替え工事中の為、仮設園舎で保育をしています。近隣・地域の皆さまに見守られ、助けられていることに感謝です。これからも人との出会い、つながりを大切に…。



都島児童館

＜公園day＞ドッジボールや鬼ごっこなどをして遊んでいます。地域のお友達と一緒に遊びませんか？
子どもの家 ●毎週水曜日…都島公園(はとぼっぼ公園)
生活クラブ高倉 ●毎週金曜日…友洲ベルパークシティ内グランド

都島乳児保育センター

「0歳児・1歳児とあそぼう」
●9/5(1歳児)・9/14(0歳児)・9/28(0歳児)
保育園でのあそびを紹介したり「こんなときはどうしたらいいの？」など、ちょっとしたお悩みでも保育士がいますので、気軽にたずねてください。

都島第二乳児保育センター

「2歳とあそぼう」園児と一緒にあそびませんか？
●10/25(木)、11/8(木)・22(木)、12/13(木)
地域子育て支援センター「のびのび」では「公園であそぼう」を予定しています。●10/22(月)、11/5(月)
みんなのサロン「ゆいまーる」では敬老の日になみ、「ふるまいぜんざい」を予定しています。●9/17(月)

渡保育園(沖縄)

ひまわり体験 ●9/26(水)
リトミック体験しませんか？(2,3歳児クラス限定)
※毎月第4水曜日に行います。お電話のご予約お願いいたします。
チャーガんじゅうゆんたくタイム ●11月予定
地域のおじいちゃん、おばあちゃんを御招待、いつも元気なわたるつ子とおやつをいただきながらゆんたくしましょう!!

都島東保育園

園庭開放「グリーンガーデン」
広い園庭と楽しいイベントがあります。
内容によっては時間や定員で締め切る場合があります。
◆ミニ運動会 10/15(月)
◆ママと手作りしよう! 11/12(月)



児童発達支援センター 都島こども園

●1/17(土)11時～13時
こども園出身の子どもたちや地域の方にゲームや軽食を楽しんでいただく予定です。
お安く夜店感覚のゲームができると毎回好評です。当日、名簿記入して、参加してください。

松島保育園(沖縄)

子育てサロン「みわらび」(調理担当への質問コーナー有)
●9月 子育て情報交換/絵本の読み聞かせ
☆子育て中のお母さん遊びに来てくださいね。
●11月 うまんちゅ首里訪問(5歳児)※訪問してエイサーを披露します。
父親座談会・親子ピクニックin末吉公園 ●11/27(土)
☆親子(父・子)での参加お待ちしております。
(サンドイッチorおにぎり弁当を持参してください)

都島友洲保育園

現在、改修工事の為、園庭開放はしておりません。1月以降の予定については、園の掲示板・ひまわりネットや子育てサロンを通じてお知らせします。
フレンドリーともぶちの開放時間 ●10時～15時
月ごとに色々なイベントもありますよ。いつでも遊びにきてくださいね。

都島桜宮保育園

園庭開放「さくらであそぼ」 ●10時～11時
◆ミニ運動会 10/9(火) ◆製作あそび 11/6(火)
先生やお友だちと一緒に、さくらであそぼ☆
子育てサロン フレンドリーさくら
子育て真っ只中の保護者のみなさまが安心して集まれる場。
お子さまを遊ばせながら、子育ての話に花が咲く楽しいひとときを…

友洲地域在宅サービスステーション ひまわり

地域の高齢者支援ステーションです。お気軽にお尋ね下さい。
楽しいイベント企画しています。●9/29(土)14:00～15:00
是非、是非お出かけ下さい。
・総合相談窓口:相談、随時受付いたします。
・デイサービス:見学・体験利用歓迎いたします。
・ケアプランセンター:介護に関するご相談受付いたします。

都島友洲乳児保育センター

室内開放 ●毎週木曜日10時～11時
事前予約はいりません。中止のお知らせはHPでご確認ください。
にこにこ ●10/30(火)10時～11時
ハロウィンあそびをします。要予約
先着15組 10/16から予約受付開始

成育保育園(城東区)

『保護者会バザー』 ●10/27(土)
小さいスペースですが、昨年の初めてのバザーでは、ゲーム、友愛品、食べ物コーナーをして盛況でした。各保育園にポスターを貼り出しますので、是非お越しください!



秋のイベント情報

今年、都島区民まつりと福祉ふれあいフェスタが同時開催! 都島友の会も参加します。

開催日:平成24年9月22日(祝) ※雨天の場合は23日に延期
AM11:00～PM4:00
場 所:桜宮橋(通称銀橋)近くの桜ノ宮公園こども広場

平成18年度から毎年3月に開催される都島区社会福祉協議会主催の「福祉ふれあいフェスタ」。福祉施設と地域の人たちとの交流を深め、地域に開かれた施設づくりを推進していくことを目的に始まったこのイベントは年々参加者も増え、地域に親しまれるイベントとなりました。
一方、大阪市全体で60万人を超える市民が参加する大阪市最大の区民参加行事である区民まつり。例年9月の後半に開催される「都島区民まつり」は今年で38回目、都島の人たちから愛される恒例のイベントです。
今年、この2つのイベントをいっそう盛り上げようと、「ふれあいフェスタ」と「都島区民まつり」が同じ会場での同時開催となりました。
都島友の会では、子どもからお年寄りまでの世代間交流や障がいを持つ人たちとの心のふれあいを通じて、楽しいひとときを共に過ごし、種別を超えた社会福祉施設間の交流を図ることに、都島区社会福祉施設連絡会として一層地域に開かれた施設づくりのステップとしたいと考えています。楽しいイベントやゲーム、バザーなども企画中、ごつかるってご参加ください。



- 都島保育所(児童センター)・都島乳児保育センター・都島第二乳児保育センター
 - 3園合同バザー
 - 都島東保育園・都島こども園・都島桜宮保育園・成育保育園
 - 都島区内の他の法人保育園と協力してゲームや遊びコーナーを開催
 - 都島友洲保育園・都島友洲乳児保育センター
 - 2園合同バザー
 - 特養ひまわりの郷・デイサービスひまわり
 - 模擬店出店(たこ焼き)
- ※その他相談コーナー、イベントやアトラクションも予定しています。

子育てアドバイス

1

「乳幼児の食事について」

当法人の保育所では年齢に関わらず、「食事は楽しい」と感じる時間であることを何よりも大切にしています。「ちゃんと食べない」という悩みをよく聞きますが、「ちゃんと食べる」ということは必ずしも「全部食べること」「好き嫌いなく食べること」ではありません。周りの大人がイライラしたり、怒り続けたりすると子どもにとって食事は「楽しい時間」ではなくなってしまいます。そうやってしまっはきつともつと悪循環になってしまいますね。難しく考えず、子どもたちにとって食事の時間が楽しい時間になるように心がけていきたいですね。



離乳食の段階

離乳とは、母乳又は育児用ミルク等の乳汁栄養から幼児食に移行する過程をいいます。

この間に乳児の摂食機能は乳汁を吸うことから食物をかみつぶして飲み込むことへと発達し摂取する食品は量や種類が多くなります。離乳の開始では子どもの様子をみながら、一さじずつ始め、母乳やミルクは飲みただけ飲ませます。

離乳が進むにつれ、1日2回食、

3回食へと食事のリズムをつけ、生活リズムを整えていきます。子どもにはそれぞれ個性があり、育ち方も違います。本などに載っている進め方はあくまでも目安としてみてください。離乳食が好きでよく食べる子と母乳やミルクが好きで、離乳食はゆつくりの子もいます。機嫌良く食べられなかった量はその子の量だと考えてください。

都島友の会本部 栄養士 仙田有里子

ゴックン期

5ヶ月～6ヶ月ごろ 1～2回食



赤ちゃんがそのまま飲み込めるように、かたまりのないトロトロ状。前半はポタージュスープを目安に水分を多めに。後半はマヨネーズのようなベタベタ状に。

モグモグ期

7ヶ月～8ヶ月ごろ 2回食



舌で楽につぶせるように、とうふくらいのやわらかさが目安。初めはベタベタ状にやわらかい粒が少し混ざった状態で、後半はみじん切りからあらつぷしに。

カミカミ期

9ヶ月～11ヶ月ごろ 3回食



歯ぐきでつぶせるバナナのかたさが目安。離乳食はつぶすのを卒業して、あらみじん切りから小さい糞(さい)の目切りが基本となります。

パクパク期

1歳～1歳6ヶ月ごろ 3回食



歯ぐきでかめるやわらか人参グラッセや1cm角程度のフライドポテトのかたさが目安。一番最初の奥歯(第一乳臼歯)が生えてくるかどうかの時期。

乳幼児の食事 Q&A

離乳食メニューがマンネリ化しています
・・・食材や調理方法が限られるので、ある程度は同じになってしまいます。ベビーフードのソースを活用してみてもいいかなと思います

後期食での調味料や使っても大丈夫な食材、ダメな食材は何ですか？

・・・ほとんどの食材は使用できますが、アレルギーが出そうな食材は様子を見て少しずつにしましょう(かに・まは・エビ) 香辛料・塩分の多いもの、蜂蜜・お刺身・お肉の生肉はやめましょう

手づかみで食べていいの？

1手づかみ食べの大切さ



食べ物を自分でつかむものの、手の神経が発達していないためうまく口に運べなかったり、握りつぶしたりとしている間に机や椅子の周りには食べ物がいつばい服や顔は食べ物だらけ。

乳児の間はついつい汚してほしくないの、大人が全部食べさせています！というご家庭も多いと思います。子どもが形のある物を食べ始める時期に見られる「手づかみ食べ」。

しかし、手づかみ食べは「食べる」とこへの意欲の表れで、食べ物に興味が出



てきて「自分で食べたい」と食事に対して意欲が出てきている証拠です。意欲的に手づかみ食べをしていく中でこぼさずに食べられるようになり、スプーンやフォークを使うことへも繋がっていきます。その大切な準備段階が「手づかみ食べ」です。また、マグマグやストローも便利なのでついつい使用頻度が多くなりがちですが、コップで飲むことにより口の中の飲みこめる分量を知る事ができます。

保育園でも「自分で食べたい」と意欲が出てきた子どもには手でつかみやすい物(おにぎりや形のあるおかずなど)を取り皿などにのせ、自分たちで食べやすいようにしています。

ご家庭でも机の下にシートや新聞紙を敷いてすぐに片付けられるように工夫をするなどして「手づかみ食べ」をどんどん子どもたちに経験してもらってほしいかなと思います。

都島乳児保育センター 保育士 頭師綾子

当法人保育所では、離乳食試食会や栄養士相談会も一般の方に向け、「子育て支援センターのびのび」や「つどいの広場」などでも開催しています。

ちょっと気になる子

お子さんが育っていくなかで、心配なことがでてくると、発達の過程で見られる行動なのか、専門家に相談するべきなのかどうか迷いますね。ママ友に相談すると「大丈夫よ」「子どもってそんなもの」と言われたり、先生に相談しても「みんなと一緒に出来てますよ」「話せばわかりますよ」と言われて、心配がないように思えるけれど……でも、やっぱり気になる。それでは、お母さんや保育園の先生がよく感じられる、「ちょっと気になる子」ってどんな子でしょうか？
よく聞かれる行動を、幾つかあげてみましょう。



Q 「ダメ！」「ちゃんと座って！」など何回言っても聞かなくても同じことをする。どうしてなの？

A こういった時、大人が期待していることが、子どもに伝わっていないのでしょうか。「ダメ」「ちゃんと座って」といったことは、年長の子にも意外にわかりにくいものです。子どもによっては、なぜ怒っているのか表情や状況からではわからない（いわゆる「空気が読めない」）ことは聞いただけではすぐに忘れてしまう人もいます。こういったことをかける時は、「〇〇はしていいよ」（して良いことを伝える）、「お尻をイスにくっつけて」など、わかりやすい言い方に変えてみるのも一つの方法ですね。

Q クラスの中で先生が話しているのに上の空でいる。家族で外出して賑やかな場所に行くと、キョロキョロして私の話を聞いているのかいないのか……。

A 園の中や人ごみなどは、大人の想像以上にとても刺激の多い場所です。人の動き、声、物を動かす音、食べ物の匂い、お友だち同士のスキップなど……「ちょっと気になる子どもたち」にとって、こんな賑やかな中で先生やお母さんの声にだけ注意を向けるのはとても難しいことなのです。また、賑やかな状況の中で特定の音や子どもたちのなきごえに不安を感じている場合もあります。そんな時は、皆に伝えられた後個別に伝えたり、静かな場所に移動してお話するなど、ちょっとした工夫を試してみてもいいでしょう。

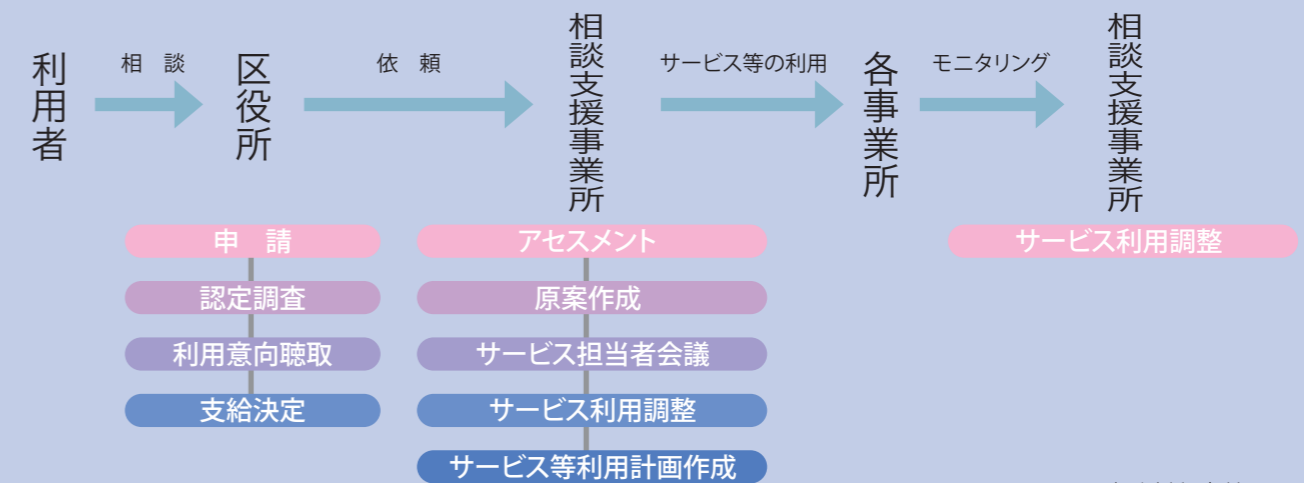
さて、こういった些細な工夫をすることで、子どもはもつといういろいろな事がわかるようになります。しかし、こういった工夫だけでは解消できない「気になる行動」もあるかと思えます。こういったお子さんの中には、理解や支援が必要な場合もあります。どんな対応をすればよいかなど、不安な思いがある時は一度専門家に相談してみてください。

都島こども園 心理士 長谷倫子

児童発達支援センターの役割

都島こども園は前号(VOL16)でもお伝えしましたように、この4月から『児童発達支援センター 都島こども園』と名称が変わりました。これまでの通園児童への支援だけでなく、保育所等に通う子どもたちが対象の「保育所等訪問支援事業」、発達の遅れのある子どもやその家族が対象の「障害児相談支援事業・指定特定相談支援事業(障がい者が対象)」が始まっています。ここでは福祉サービスを利用する時の流れを紹介します。

福祉サービス利用の流れ



※相談支援は無料です



ひまわりの郷から

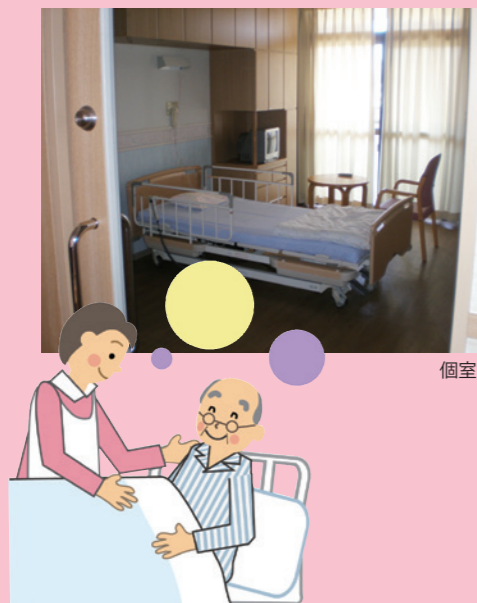


施設利用について



- 1. 特別養護老人ホームひまわりの郷とは？**
特別養護老人ホームひまわりの郷は、身体上又は精神上に障害があるため常時人の手を借りなければ身の回りの事が出来ず、家庭において生活が困難な方が生活する施設です。サービス内容については介護保険制度における基準に基づいて行います。
- 2. 入居の申し込みができる方**
ご本人自身が入居したいとの意志があり（意思疎通の出来ない方は、ご家族の意思）、要介護認定において要介護1から5と認定された方が対象となります。
- 3. 入居の順番はどうなっていますか？**
申し込み順ではありません。大阪市が定めた入所指針に基づき、申込者リストの中から候補を選び、面接調査のうえ施設長をはじめとする入所選考委員会が入所者を決定します。
- 4. 入居する場合、一時金のようなものは必要ですか？**
一時金はありません。特別養護老人ホームは介護保険報酬をもとに運営されていますので、月々の利用負担金分をお支払いいただくようになっています。
- 5. 個室に入りたいたけれど、個室だと差額ベッド代がかかるのでしょうか？**

- 6. オムツ代、洗濯代はいくらでしょうか？**
差額ベッド代は必要ありませんが、ひまわりの郷では、個室の居住費としては月額1,150円をご負担いただいています。ただし、所得により減額される制度があり、ほとんどの方は減額されます。
- 7. 個室には何が持ち込めますか？**
スペースの許す範囲で、家具を入れたり、額や絵を飾ったりしていただいています。テレビもご利用いただけます。



個室

※入所申込及び施設見学については随時受け付けております。またすぐに入所できない場合でも他の介護サービスや支援方法についても相談できますので、お気軽にご連絡下さい。



東北大震災から1年半。3月11日を忘れないよう、私たちの“できることをしよう”と、毎月11日に『11(いい)ね!物産展』を開いています。東北の物産を主に販売していますが、6月は東都島小学校の子どもたちのアイデアによるマドレーヌとラムネも販売するなど地域の応援隊にもなりました。売上金の一部は、まとめて来年3月に被災地に寄付させていただく予定です。

5月



地域にも呼びかけ、『夢をかなえるためのコツ8』をテーマに講演会を開催しました。講師である的場亮先生の熱い語り口に、参加者からは自分の人生を見つめ直し、たくさんの気づきの機会を与えてもらったと感謝の声が多く寄せられました。

6月



消費生活専門相談員の山田氏より身近に起こっているトラブルや被害の最新情報を聞き、暮らしに関する知識を深めました。

7月



安い・簡単・すぐ出来る料理のいろいろを紹介。都島友の会の仙田栄養士が目の前で作り、味わい、みんなで楽しみました。

職員研修 ◆ 職員研修 ◆ 平成24年5月30日に第一回目の法人内研修を行いました。研修は都島乳児保育センターが担当で「乳児保育について」というテーマで行いました。 まず、以前、都島乳児保育センターで作成した「乳児保育マニュアル」を基に、信頼関係や0、1歳児の保育の基本となっている「食事、授乳、睡眠、沐浴」に分けて職員間で話し合いを持ち、どのようにすればわかりやすく伝えることができるのかなどを園全体で話しました。また、初めて集団生活を過ごす中で保護者や子どもたちに対してどのような点に配慮をし、一人ひとりの生活の安心、安全を守っているのか、日々の生活の写真なども紹介しミルクの作り方、沐浴方法なども実践し、見てもらいました。 今回の研修に向けて職員間で話し合いを進めていくことにより日々の保育の見直しも兼ねてすることができ、当たり前に行っている保育も一つひとつに意味があり、また、今までの先輩の先生方の教えが語り継がれていたことに気づくことができました。そして、相手に伝えることの難しさなども感じることでよい経験ができました。これからも丁寧な保育を忘れずに子どもたち一人ひとりが落着いた環境の中で安心して過ごせるように保育をしていくことと後輩にも保育の大切さを語り継いでいこうと思いました。

都島乳児保育センター 増田敦子



HIMAWARI.NET 連載こらむ

ネットのきもち

事務所が道路に面しているせいか、思いがけず懐かしい人に出会うことがある。

今まで数え切れないほどたくさんの方と出会ってきたので、声をかけられてもすぐには名前が思い出されないこともあるが、彼女は違った。ある日突然保育園に「これね!もうよう育てられない!」そういつて保育園の事務机の上に赤ちゃんを置き傍目もはばからず涙を流されていた。それが彼女との出会いのシーンだった。あれから10年近く経って再び出会うことに...。薬の副作用で肥満気味だった容姿もスマートになり、何よりも自分から話しかけてくれたことに驚かされた。

「○○ちゃん元気?もう大きくなったやろねえ?」とどんどん昔話に花が咲く。「お母さんも元気そうで嬉しいわあ」というと急に「△△ちゃんって呼んで」と言い出された。「お母さんって呼ばれるの嫌?」と返すと、「イヤー...そうだったのだ!...初めて子どもを授かり、気恥ずかしい中にも『ハハ』と呼ばれることに誰もが幸せをかみしめる、そんなものだと思っていた私。」

妻でもない、母でもない、一人の人間として認めてもらいたかったのだ。そう感じた瞬間だった。

数日後、今度は今や少年の面持ちの子どもと一緒に訪ねてきてくれた。「保育園に行かへんってぐずってずっと泣いてる、どうしたらいいか分からへん!」何度か電話をかけてきたよね。すぐ家まで迎えに行き、泣き叫ぶ○○ちゃんを抱きかかえ園まで連れてきたら門のところでピタッと泣き止むのよ。道行く人は振り返るし、まるで私誘拐犯みたいだったわ」と笑いながら話すと「そんなこともあったかな」と笑って返された。こんな会話が彼女と出来るなんて...暗いトンネルからやっとなげ出したのだろうか。彼女だけではない、いろんな悩みを抱え、人生に息苦しさを感じている人のなんと多いことか。

某CMではないが「そんななんあたりまえ!」と思うことでも「いろんな人生あるんやね」とすべて受け止めることからはじめたい。あんなことあったよなと笑って話せる日がきつとくる信じて...

(ひまわりネット相談員 村上明子)

平成24年度 社会福祉史の市民講座(第一回) ゆりかごから墓場まで、の福祉目標を目指して

渡久地理事長講演



去る4月28日、平成24年度社会福祉史の市民講座(主催・ウェルおおさか 大阪市社会福祉研修・情報センター)で渡久地理事長が講演を行いました。 テーマは「比嘉正子と都島友の会の実践」。昭和6(1931)年、当時幼稚園がない都島で初めて青空幼稚園を設立。以降戦前・戦中・戦後と厳しい社会状況の中で、多様な福祉課題の解決に果敢に取り組んだ創設者比嘉正子の思想とその活動の姿を、都島友の会80年の歴史と共に紹介しました。

今号の表紙

都島児童館子どもの家5年生 上間 飛奈さんの作品



2011年「全日本こども美術大賞展」で特選を受賞した作品。ひまわりの花を、墨と「インテ画材」で描きました。

「絵のクラブ」講師、一口敦子先生の作品評 ▼ダイナミックな構図の中に花びらや種の細かい表現も加えられて力強い作品です。

編集後記

社会福祉法人都島友の会の80周年を経て、ゆんたく都島をリニューアルいたしました。地域の皆様や、保護者の皆様など関係者の皆様にも、より読み易く、より役立つ、そして何よりも楽しいゆんたくにしていけたらと思います。 また、ご意見ご感想をお寄せいただけたら、ありがたいです。よろしくお願いたします。

ひまわりの郷・海老子隆





みやこじま



取材・記者／都島児童館

守屋美智子



第1回

都島神社

みやこじまじんじや

地下鉄 都島駅、都島本通交差点を西へ歩いていくと永暦元年(1160)平安後期、後白河法皇(ごしらかわほうおう)が8ヶ村の人々と協力して創建され、昭和18年(1943)「都島神社」と改名された都島区を代表する神社があります。境内には市内最古の石造遺物として大阪府の有形文化財に指定されている「石造三重豊篋印塔」があります。



都島神社の夏祭りは熱い！



祭りの二日間は、ハッピーを着て町内の子どもみこしや地車の巡行を朝から晩まで街を歩き回ったものです。所々での休憩、仕出しの楽しみは言うまでもありません。



私も小さい頃からこの祭りが近づく、わくわくしていました。綺麗に掃き清められた境内の石道以外、普段は進入禁止ですが、この時ばかりは足跡を付けたのが私の楽しみの一つでした。



境内を取り巻く夜店がたくさん並びその通りを歩くと、何人もの同級生と出会うのが楽しくて…今はちょっとした同窓会となっています。



最終日の地車の宮入は何とも言えない迫力が観客を魅了しています。



その他、七五三まいりでのこの神社を訪れる地域の方も多く、秋の賑わいです。都島友の会の数園も、元気に成長しますようにお参りをしています。

